

議会報告会報告書

平成24年7月27日

山陽小野田市議会議長
尾山 信義 様

C 班
代表 衛 藤 弘 光

平成24年6月定例会議会報告会の実施状況について、下記のとおり報告致します。

記

1 開催日時

平成24年7月23日（月）

2 開催場所

有帆公民館

3 参加人数（市民）

7人

4 担当班議員名

（衛藤弘光）（矢田松夫）（石田清廉）（河崎平男）（硯谷篤史）（吉永美子）
（三浦英統）（中島好人）

5 報告会次第

（1）市議会議長挨拶

（2）6月議会の報告会

① 総務文教常任委員会

② 民生福祉常任委員会

③ 産業建設常任委員会

④ 議会運営委員会

（3）質疑応答

6 主な質問・意見・提言

① ふるさとを考える会から議員削減に関する請願が出ているが、ふるさと

のことを考えていない。財政面は考えていないようであるが議員を削減することは民意を反映することにならない。現在小野田市は6万7千人いるが30名から24名になり今後20名としたい旨の請願が提出された。我々の住民の意思の反映や、行政に対する監視機能の強化をすべきであるが、ふるさとを考える会はふるさとを考えることに欠けていると思う。20名になればさらに減員にする可能性がある。人員は多い方がいいと思う。

「回答」意見としてお聞きしておきます。

② 現在有帆で草取りをしているが、熊野神社付近を通過している興産道路（梅田地区）の法面より立木が多く道路側に出ている、危険であるので処理をお願いしたい。

「回答」この件については中島議員さん対応をお願い致します。

③ 議会運営委員会の定数問題について不明な点が多い。時間に遅れてきましたので質問事項がよくわからないが、パワーポイントは消えてしまうので資料があればよいと思う。市は防災に力を入れているようですが、地震による高潮で有帆川に逆流水はどの位の高さでどの位のところまで来るかお知らせください。

「回答」前回までは資料を出していたが、パワーポイントで説明しても資料を見られる方が多く今回資料配布を中止したところである。今後検討したい。高潮問題は行政当局と協議し結果をお答えいたします。

④ 防災の件であるが、郷土資料館の方が講話されたが、地震の活動時期に入っていると言われた。小野田地区は干拓地であり有帆川の方が高く災害があれば被害が出る。以前は山口地方は地震が少ないといわれてきたが、山口大学の金堀教授のお話の中で地震活動が中間活動期に入ったとのことである。東日本大震災後県内の安全神話は捨てるべきである。小野田地区は地震があれば津波や液状化が発生する。小野田は炭鉱が多くあり坑道もあるので液状化が発生する。市民病院の建設であるが現在地に建設するようであるが、用地代がいらなど現在地に建設と言っているが禍根を残すことになる。病院建設を高台に移転するよう再度考えてもらいたい。

「回答」患者さんの意向調査を行うと共に、患者の利用面や、経営面も考慮し

厚南地区の受け入れもできるよう考慮もしている。防災についての対策として、基礎のくい打ちや沖中川が増水したときの処置とし病院の基礎を高くし、又、電気設備も2階以上に設置するよう計画している。ヘリコプター離発着も計画されている。

⑤ 企業誘致フォーラム実行委員会で企画され議会が中心となり実施されることは大変良い企画である。予算的には50万円であったと思う。現状での小野田市議会の評価は高いものがあるが是非成功させてほしい。商工会議所も動員をかけているが会員と事業所がだぶっているが頑張っていきたい。パネルディスカッションもすごいメンバーであり是非成功させるべきである。企業誘致フォーラム実行委員会の方も動員計画を立てて頂きたい。議員も仕事が増えている状況ですが、市民との話し合いも大切ですが、議員定数について委員会でよく審議し、中身のあるものを期待したいし、又公開討論会を是非行って頂きたい。次に議会基本条例であるがこの条例は細かいところまで記述されており、自分の首を自分で絞めている状況である。この条例の項目を市民はチェックし監視をすると思う。改めるべきところは改めるべきであると思う。議員の任期は4年であり議会白書を作成すべきと思うが、その位の気概で行動をしてほしい。

⑥ 議員定数の件ですが、議員は専門であれば15名でいいと思う。多くいればいいというものではないと思うが、今後中身のある議論をすべきである。議会運営委員会で継続審査とあるが審査では結論が出ないのではないか。議員は4年間が任期であり、削減の公約をしている議員も多くおり何年経っていると思うか、3年経っているがまだ結論も出していない。議会運営委員会で継続審査となっているが、継続審議ではないかと思うがどうか。

「回答」審査は議会言葉である。(委員会は審査であるが、本会議は審議である。)

⑦ 市の防災ラジオは自己負担であるか、又、どこには配布するのか。市民病院は都市ガスか、LPGか。有帆地区の過疎化対策をお願いしたい。

「回答」防災ラジオ600台購入で、1台8,000円で自己負担は4分の

1の負担で2,000円です。配布については自主防災組織のあるところを優先して配布する。

地元業者からはLPGガスの利用を要望しているが、非常時には検討すると病院局は言っている。今月26日に委員会を開催し協議をする。

- ⑧ 有帆地区で道路にボーリング調査をしているがこの調査記録はよく保存をしておいて頂きたい。市民病院についてもボーリング調査結果がわかるようしておいて頂きたい。今後行政に行き記録を見せて頂きたいときにすぐ見られるようお願いいたします。又有帆川の左岸に水が出るところがある。市や宇部土木が現地調査を行い、ボーリング調査も行った。一の瀬橋から新橋の水路付近の田は水分が多い。今後大雨が降ると有帆川の堤防が決壊するのではないかと心配であり今後とも調査等お願いしたい。

「回答」行政当局にお伝えしておきます。

- ⑨ 有帆地区の交差点付近の道路は今後どのような形態になるのか。

「回答」調査のうえ回答する。